

スズキ、インドで四輪車累計生産 3,000 万台を達成



生産第一号車「マルチ 800」



人気の SUV「フロンクス」

スズキ株式会社は、2024年3月末までにインドにおける四輪車の累計生産 3,000 万台を達成しました。3,000 万台の達成は日本に次いで 2 カ国目で、1983 年 12 月の生産開始から 40 年 4 カ月での達成は日本の 55 年 2 カ月を抜いて最速となります。

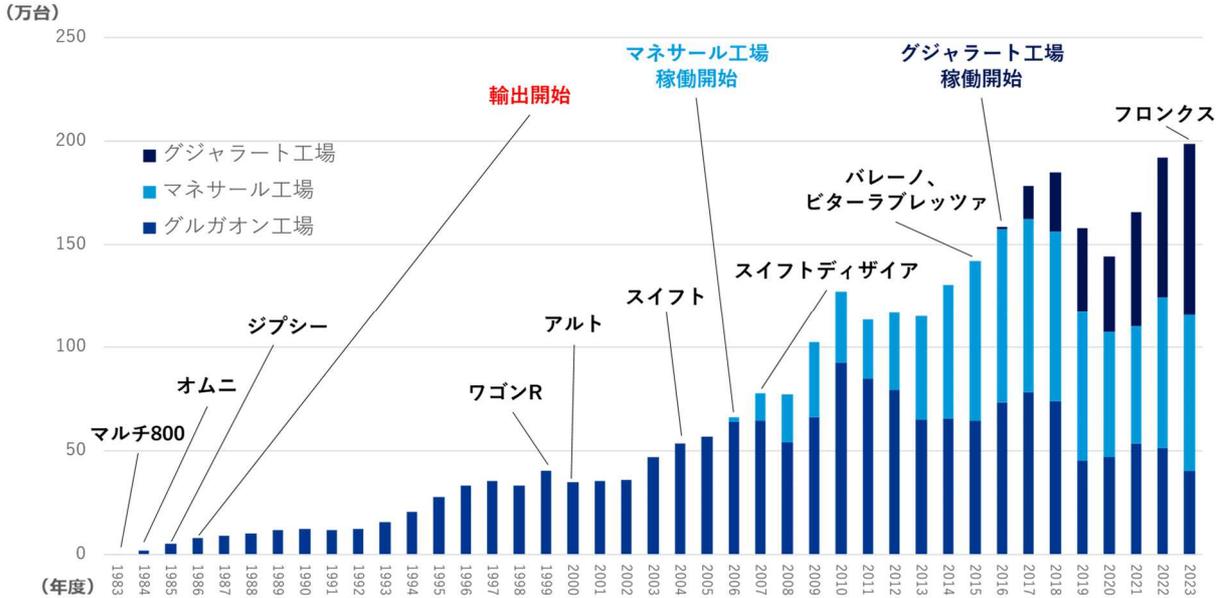
スズキは 1983 年 12 月に、現在の子会社マルチ・スズキ社の前身であるマルチ・ウドヨグ社で生産第一号車「マルチ 800」をラインオフしました。現在では、マルチ・スズキ社のグルガオン工場とマネサール工場に加え、スズキ・モーター・グジャラート社のグジャラート工場の 3 拠点で、小型車「ワゴン R」、「スイフト」、「バレーノ」や、SUV「ブレッツァ」、「フロンクス」など 16 車種を生産しています。

現在の年間生産能力は 225 万台で、今後のインド四輪市場の拡大に備え 2030 年度までに約 400 万台の生産能力を確保できるよう、2025 年にハリヤナ州のカルコダ新工場、また 2028 年度にはグジャラート州のグジャラート新工場の稼働を予定しています。

【インド累計生産 上位車種】

順位	車種名	排気量	台数
1	アルト	1000cc	506 万台
2	スイフト	1200cc	319 万台
3	ワゴン R	1000/1200cc	318 万台
4	マルチ 800	800cc	291 万台
5	ディザイア	1200cc	286 万台
6	オムニ	800cc	202 万台
7	バレーノ	1200cc	195 万台
8	イーコ	1200cc	119 万台
9	ブレッツァ	1500cc	116 万台
10	エルティガ	1500cc	110 万台

【インド累計生産 3,000 万台の推移】（モデル名は生産開始年度を示す）



生産開始	1983年 12月	1,000万台達成	2011年 3月
100万台達成	1994年 3月	2,000万台達成	2018年 6月
500万台達成	2005年 4月	3,000万台達成	2024年 3月

【現在の生産車種と生産能力】

工場	生産車種	生産能力
グルガオン	イーコ、スーパーキャリイ、イグニス、ジムニー、アルト	70万台
マネサール	シアズ、エルティガ、XL6、プレッツァ、ワゴン R、 ディザイア、エスプレッソ、セレリオ	80万台
グジャラート	バレーノ、スイフト、ディザイア、フロンクス	75万台

以上